

大場豪文氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

1期4年間を務めさせていただき、この4年間コロナ禍により個人・事業者の相談、西部地区大規模浸水被害による現場での被災状況の確認及び被災住宅の復旧作業、NHK 大河ドラマゆかりの地では観光活性化組織の立ち上げで、さまざまなイベントを企画実行するなど携わってきました。そこで改めて気づいたことは市民に寄り添う身近な存在となり、皆様の声に耳を傾けその状況を行政に伝える懸け橋役として立候補を決めました。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

沼津市が現在抱えている最大の課題は、人口減少と考えます。対策としては、企業誘致や、ふるさと納税等による税収の増加により、更なる子育て世代への支援、福祉・介護の充実、自然災害対策が目に見えて強い地域であるというアピール等、すべての市民が幸せに暮らしやすい街づくり・魅力ある沼津の実現により、人口減少の歯止めとなり人口増加に繋げることが出来れば良いと考えます。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

沼津駅付近鉄道高架事業は一つ的手段として再生は可能だと考えます。沼津市では、「沼津市中心市街地まちづくり戦略」として多くの市民や来訪者が集う都市の顔として再構築していくために沼津駅周辺総合整備事業と併せてまちづくりの施策の方向性を示し、ヒト中心のまちづくりを具現化するため「スマート・プランニング」に取り組み、その分析を踏まえて公共空間再編整備計画を策定し、新たなまちづくりに取り組んでいる。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は、現状においては当局の本気度が市民に伝わると思わないので達成が難しいと考えます。色々な施策を考えて市民に伝え納得出来る状況になってくると達成に近づくとおもいます。移住策として、市内全域で住むことの出来る空き家やホームステイの出来る民家を利用して、1週間ぐらい住んでいただき体験することで、魅力を感じ移住を決断した方には、市が引っ越し費用の一部負担。